

令和 8 年度 予 算 要 望 書

令和 7 年 1 1 月 4 日

会派名：輝

令和 7 年 1 1 月 4 日

淡路市長 戸田 敦大 様

会派名：輝

氏名：岬 光彦

村田 沙織

令和 8 年度 予算要望について

キャッチフレーズ

市民ひとりひとりが輝くための予算編成

日頃から、市長をはじめ職員の皆様には、市政発展のためご尽力を頂いておりますことを心から感謝申し上げます。コロナ以前の地域行事も盛んになり、街の賑わいが戻っており喜ばしい限りです。国の補助金を活用しながら様々な事業が実施されており、市民生活を守るために努力して頂いています。また、市民の給与所得も増加しておりますが、2023 年以降値上げラッシュが続き、累計で 65,000 品目超と、市民の生活は切迫した状況となっております。

市の令和 6 年度決算では、実質公債費比率 13.2%、将来負担比率 13.6% となり、合併当初である平成 19 年度から大幅な改善がみられました。これは計画的な市債の計画的な償還、ふるさと寄附金の増加のための担当課の努力の結果であり、大いに評価できるものです。

しかし、経常収支比率は 94.4%と依然として高い数値になっており、財政は硬直化しています。本市の高齢化率は 38%を超えており、少子高齢化による社会保障関連経費の増加、広域ごみ処理施設の建設など今後も非常に厳しい財政状況が予想されます。南海トラフ地震への危機感も高まっています。

淡路市議会でも様々な御意見を聴き、安心・安全な生活を築くために、令和 8 年度予算編成に関する要望及び政策提言を提出致します。会派「輝」は市民と共に輝く淡路市実現に向けて、誠心誠意頑張っています。

戸田市長におかれましては、会派「輝」の趣旨をお汲み取り頂き、市の発展と市民の幸福のために共に汗を流して頂きますよう、心より願っております。

1. 人と人がふれあい、学びあい、助けあい、励ましあう教育
 - ① 小中学校給食費無償化の継続
 - ② ICT 機器を活用したスクールカウンセラーによるオンライン相談
 - ③ タブレットの効果的な活用（書く教育の継続）
 - ④ いじめ・不登校への対処
 - ⑤ 小中学校体育館のエアコン設置
 - ⑥ 伝統芸能や伝統文化に触れる機会を増やす
 - ⑦ 市立の中高一貫校の検討
2. 子どもを産み育てたいと思える環境作り
 - ① 出産祝い金 100 万円支給
 - ② 出産祝い金を第一子から支給
 - ③ こども園、保育園への防犯カメラ設置
 - ④ 子どもからお年寄りまで、障がいの有無に関わらず様々な人が集まる場所の整備
 - ⑤ 全天候型の遊び場整備
 - ⑥ こども食堂への補助金額を増額
 - ⑦ 小学校入学時に希望者へのランドセル配布
3. まちづくり支援
 - ① 道路パトロール人員の増加
 - ② 花火大会の場所を志筑新島で開催
 - ③ 若者が楽しめる事業の開催
 - ④ 大町ひまわりまちづくりなどまちづくり支援
 - ⑤ 明石海峡大橋の無料化に向けて、実証実験を行う
 - ⑥ 遺族会への補助金増額と慰霊祭の充実
 - ⑦ 各町内会イベントへの支援、町内会役員への報酬
 - ⑧ 自治体 DX の更なる推進
4. 災害に強いまちづくり
 - ① 南海トラフ地震への備え
 - ② 空き家対策予算の拡充
 - ③ 防災訓練の強化・推進（自助・共助の強化）
 - ④ 伝染病が起きた時の対応強化
 - ⑤ 災害発生時に孤立する恐れがある市民への対策
 - ⑥ 避難要支援者の個別避難計画作成を進める

5. 訪れた人が住みたくなる観光施策

- ① 日本遺産、国生み、伝統ある伊弉諾神宮を生かす事業
- ② 歴史とロマンの島づくり
- ③ 第3セクター・震災記念公園・パルシェ・松帆の湯・道の駅の活用
- ④ 情報発信のための予算
- ⑤ 渋滞緩和のための道路整備
- ⑥ 兵庫県企業誘致土地の活用（モータースポーツランド整備）

6. 産業振興

- ① AI、IoT などデジタル化と人材育成の予算
- ② グローバリゼーション・ダイバーシティの促進
- ③ 一次産業（農業・漁業）への助成、中山間助成金増額
- ④ 地域通貨として全市民への商品券1万円配布
- ⑤ ジビエをペットフードとして活用するための予算（鳥獣被害防止総合対策交付金の活用）

7. 日本一健康な淡路市を目指して

- ① 介護予防の更なる推進
- ② 北淡診療所に特徴のある科を設立（薬やめる科など）
- ③ 精神障がい者と介護者への高速バス代補助
- ④ 病気の予防に取り組み、医療費削減に貢献している市民への還元